



2020 年度
第 17 号

体育市民連帯 ニュースレター

体育市民連帯は

健康な体育文化の定着

と制度改善のために

努力しています。

皆さんの愛情のこもった

関心と激励を

お願いします。

1 体育市民連帯コラム

一つだけ知っている
二つは知らない？



2 共にすると強くなる

スポーツ選手
人種差別反対の声



3 韓国プロスポーツ協会

プロスポーツxソーシャルビッグデータ
2019 発刊



4 ポストコロナ

世界スポーツ医学の専門家と
チームドクター協力プロジェクト



5 スポーツ界あれこれ



【体育市民連帯コラム】**一つだけ知っている二つは知らない?! 金ヒジン/体育市民連帯執行委員**

「コロナ 19」で人々は物理的な距離置きをしなければならず、暑い日にマスク着用をしなければならず、集まりの制限を受けながら生活の中で防疫を実践しています。期間が長くなると日常でお互いが少しずつ疲れてきて、敏感な反応が現れることもあります。誰もが初めて経験するウイルスにより大変辛いです。身体的な活動で観客と一緒に呼応して本人の競技力を思う存分に発揮したい選手、そんな試合を見たい観客、選手の能力を強化させ一緒に呼吸する指導者、そして関係者すべてが足止めとなりました。最近、スポーツ分野の人権教育申請や問い合わせの訓練のために会議をしようとしたところ外部機関に陳情したり、合宿所の外部外出制限を「人権侵害」と抗議したりする状況など、基本権が衝突する日常の難しさが表れています。

「人権侵害」との言葉を使いますが、よく聞いてみると本人だけが享受する「利己的人権」の場合があります。人権は個人だけをいうものではありません。「私」ではない「あなた」がいて、「私たち」が一緒にいるとき完全に可能です。基本権の制限については法により国家安全保障、秩序維持、または公共福利のための目的として必要で可能であっても、その制限事由が基本権尊重より大きくない場合は制限できません。さまざまな人権が衝突したときに、何かを加えて何かを除くのではなく、何を優先すべきかを考えて最善策を用意すれば良いのです。

今の状況で誰もが共に優先しなければならない人権は生命と安全、人権に配慮した対応策です。管理や責任を担っている人は、やむをえず会議を主催するときは事前に防疫指針を最大限に考慮して優先して準備しなければならず、同意とそれに伴う十分な案内を最初にする必要があります。移動権の制限については以下の文で提起してみたいと思います。

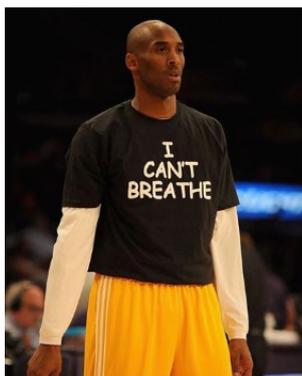
2020 年 4 月「COVID-19 と人権国連事務総長政策報告書」によると、「人権は国家が人々に恩恵を与え、被害を与えない方法で権限を行使できるようにする。注目すべき点は、コロナ 19 の対応で最優先に考慮されるのは人権である。今回の感染症と関連して 3 つの権利が最優先に考慮されている。生命権と生命保護の義務、健康権と医療サービス利用の権利、移動の自由についての核心制約はウイルスを抑制し生存権を保護することが連鎖感染を防止することを意味する。人々は移動したり他人と対話したりすることを中断しなければならない。各国で最も多く実施されているコロナ 19 抑制策は封鎖や自宅待機の指示のように移動の自由を制限するものである。これはウイルス伝播を絶ち、医療保健サービスの負担を減らし、これにより命を救う現実的で必要な方法である。」

「コロナ 19」は自分一人だけの病気ではなく、多くの人に拡散され、生命を脅かすこともあります。まだその治療薬がないので日常の防疫指針を遵守しなければなりません。個人の自由権はしばらく置いてもう少し待つ必要があります。今しばらくの基本権制限が多くの人の命を生かす人権尊重であり、自分にも同じ尊重になるでしょう。

オリンピック憲章オリンピック理念の基本原則第 4 項「スポーツ活動はすなわち人権である」を、日常でスポーツをする身体活動がなくてもスポーツ人として人権に配慮した日常を作ることです。

02 ハンギョレ 2020.6.2

【 “スポーツ選手” 一緒にすると強くなる” 人種差別に反対した声 】



コービーの妻ヴァネッサがインスタグラムに投稿した 2014 年コービー・ブライアントの実際の様子。

ヴァネッサインスタグラムより

「息ができません。(I can not breathe)」

1月にヘリコプター事故でこの世を去ったバスケットボールのスター、コービー・ブライアント (42) が写真の中で「息ができません」と書かれた黒い上着を着ている。写真を撮ったのは6年前の2014年。当時、黒人エリック・ガーナーは警察に首を絞められ死亡した。彼は死ぬ前30秒間に11回もこの言葉を繰り返した。米国ニューヨークで起きた事件にコービーがメッセージで抵抗したものである。

悲劇は6年ぶりに繰り返された。米国ミネソタ州で黒人ジョージ・フロイドが警察に膝で首を押さえつけられて死亡した。死ぬ前に彼は同じ言葉を繰り返した。コービーの妻ヴァネッサが2日(韓国時間)、自分のインスタグラムに夫の写真を上げた理由だ。彼女は「夫がこのシャツを着たのは数年前だ。私たちは再び同じような状況を見ている。憎しみを追い出し、家庭と学校での尊敬と愛について教えなければならない」と書いた。

フロイドの死亡の知らせに、全世界のスポーツスターたちが人種差別反対の声を出している。「タイガー・ウッズ (45) は2日、自身のツイッターに「フロイドと彼の家族、そしてこの事件で傷ついたすべての人に慰めの言葉を伝える」と述べた。彼は「普段警察に深い敬意を持っている」と言いながらも「衝撃的な今回の悲劇は、明らかに一線を越えた」と指摘した。先にマイケル・ジョーダン (57) は「非常に悲しい心から苦しく、怒りを感じる」と述べた。

”無敗のボクサー” フロイド・メイウェザー・ジュニア (43) は、フロイドの葬儀費用を負担するとした。彼はすでにフロイドの遺族に連絡を取り、遺族が彼の好意を受け入れたという。



イングランド・プレミアリーグ (EPL) リバプールの選手たちが本拠地アンフィールドの中央で「^{ひざまず} 跪き」で人種差別反対の意を表している。

ファンダイクインスタグラムより

イングランド・プレミアリーグ (EPL) リバプール選手団は、膝でフロイドの首を抑えつけた警察の行動に「ひざまづくこと」で対抗した。彼らはトレーニング中、本拠地であるアンフィールドの中央ライン付近に丸く集まった後で、ひざまづくポーズを取って人種差別反対の声に参加した。リバプールのDFフィルジル・ファン・ダイクは、自分のインスタグラムに「一緒にすると、私たちはより強い」という内容の文を載せた。マンチェスター・ユナイテッドのMFポール・ポグバは「人種差別は無知、愛は知性」と指摘し、チームメイトマーカス・ラッシュフォードも「黒人の命は重要である。私たちは重要である」と声を

高めた。デビッド・ベッカムは、「今回のことで怒った彼らと連帯する」と支持を示した。



ドルトムントのジェイデン・サンチョが1日ブンデスリーガパーダーボルン遠征試合で決勝ゴールを入れた後、「フロイドに定義を」と書かれたシャツを見せている。 パーダーボルン/AP 連合ニュース



ボルシア・メンヘングラッドバッハのFW マルクス・テュラム (23) が、去る31日ブンデスリーガウニオンベルリンとのホームゲームで得点后「^{ひざまず}跪き」セレモニーをしている。

メンヘングラッドバッハ/AP 連合ニュース

スポーツ競技場とコートでは、政治的なメッセージを伝えることは許されない。しかし、今回は雰囲気が違う。最近、ドイツブンデスリーガからフロイド追悼セレモニーが続いて、ドイツのサッカー連盟が懲戒検討に出るや、国際サッカー連盟 (FIFA) は「常識に基づいて判断するように願う」とし、この事案については実質的に反対の声を出した。FIFA ワールドカップは、競技場内でのすべての政治的行動を禁止している。

*出典：http://www.hani.co.kr/arti/sports/sports_general/947540.html

03 朝鮮日報 2020. 6. 4

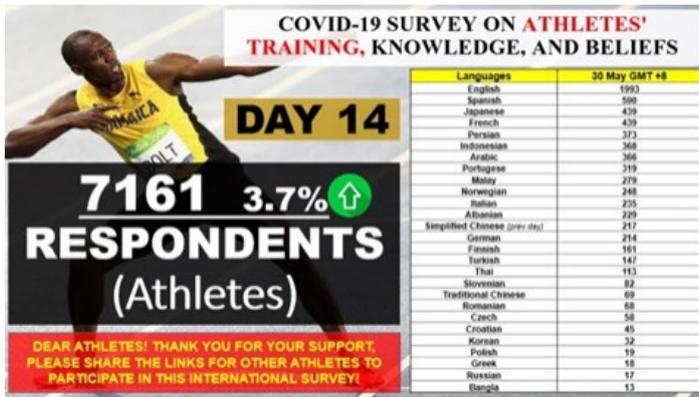
【 スポーツ「ポストコロナ」の時代に備えて、55 カ国が一つになった 】

世界のスポーツ医学専門家とチームドクターが協力して「ポストコロナ」時代のためのスポーツ界対策を準備する巨大プロジェクトが進行している。

6つの大陸、55カ国の学者99人がこのプロジェクトに参加し、現在は調査対象者にアンケートを送って回答を収集している段階だ。韓国の学者で唯一の参加者である金グァンジュン延世大セブランス病院内科教室教授 (大韓サッカー協会医務分科委員) は「回答者1万人を目標にプロジェクトを進行中であり、現在7000人が回答した」とし「この傾向が続けば、6月中旬頃に目標を越えるだろう」と話した。

調査対象はコロナウイルスの拡散により封鎖措置や移動制限令を経験しているか経験したことのあるエリートまたは準エリート選手 (男女アマチュアスポーツ選手、障害者スポーツ選手など) である。アンケートは韓国語を含めて25カ国の言語に翻訳して配布した。調査対象者の国籍は問わず、韓国語使用者は5月の時点で32人が回答した。

研究チームはコロナウイルス事態によって選手の訓練面がどのように変化したかを調査し、それが選手の身体・精神に与えた影響を分析する予定である。さらに、ポストコロナ時代を迎え、チームのトレーニングやアウトドア訓練などが以前に比べて制限されるとき、選手たちの運動能力と精神的健康を維持できる活路を模索する計画だ。まだコロナウイルスが猛威を振るっており、学者たちの国家間移動が制限されるため、研究はビデオ会議で進行する。



5月30日現在の回答状況

金グアンジュン延世大セブランス病院教授提供

金教授は、「コロナ事態が終わっても、人類はスポーツを通じた感染症伝播にはるかに敏感になるので、これからの選手のトレーニングは絶対コロナ前の時代に戻ることができないだろう」とし「世界のスポーツ学者が力を合わせて「ポストコロナ」時代に活用可能な、安全な新しいトレーニングガイドを確立しようと、今回のプロジェクトを進行するもの」と説明した。また、「時宜性のあるプロジェクトであるだけに、できるだけ迅速に研究を進めて、コロナウイルスの拡散の影響で困難を経験するスポーツの助けになるようにする」とし「現在は8月までに研究成果を導き出すことが目標だ」とした。

*出典：https://news.chosun.com/site/data/html_dir/2020/06/04/2020060401376.html

04 スポーツトゥデイ 2020.6.2

【韓国プロスポーツ協会「プロスポーツ x ソーシャルビッグデータ 2019」発刊】

韓国プロスポーツ協会（会長李ジョンデ）が「プロスポーツxソーシャルビッグデータ 2019」を発刊した。「プロスポーツxソーシャルビッグデータ 2019」は、2018年1月から2019年12月までにSNS、カフェ、コミュニティなどのソーシャルメディア上で利用者が残した非構造化データ（テキスト、写真、映像など）をもとに分析を進めており、2019年10月から2020年2月までの4ヶ月間、韓国人サイト研究所が分析を実行した。

報告書にはプロスポーツ種目（プロサッカー、プロ野球、プロバスケットボール（男、女）、プロバレーボール）全体について▲記事・コメントトピックス分析▲ソーシャルデータ分析をはじめ、各種目別▲興行要因分析▲画像解析▲イベントの効果分析を収録しており、本報告書はプロの団体と球団に提供された。特に今回の報告書ではオフライン余暇活動から抜け出し、オンラインコンテンツを楽しむ人々が増えてきて、オンラインコンテンツプラットフォームへのアクセスが高まる点に着目し、1980年代以降に生まれたMZ世代（ミレニアル世代+Z世代）の「オンラインコンテンツ消費特性とプロスポーツ」について分析した。分析はインスタグラム、ニュース、YouTube、コミュニティ、カフェなどのソーシャルメディア上で2018年以来、約2年の間に言及された非定型データ332万件を対象に行われ、各媒体別に関連イシュー語、関連語抽出を介して利用者の特性を把握した。

▲生中継・ライブなどのスポーツ映像コンテンツの関心が急増... 18年第1四半期比で2倍以上↑MZ世代のスポーツコンテンツの消費は映像に対する関心が持続的に増加することが分かった。コンテンツの種類別にツイート比率推移を比較した（四半期別）結果、スポーツ映像コンテンツは18年第1四半期比で19年第4四半期にツイート量が2倍以上に増加（24.8%→55.2%）しており、同じ期間、一般の映像コンテ

ンツのツイート割合増加推移（32.8%→59.3%）よりも高かった。ツイートされた問題語は「生中継」、「ライブ」、「インタビュー」などが高かった。

スポーツゲームコンテンツの場合、一般的なゲームコンテンツに比べて相対的に高かった「FIFA オンライン」、「ウイニングイレブン」などのサッカーゲームに対する高い関心が現れ、オーディオは「ポッドキャスト」などを通じて専門的なスポーツ情報を得ることが分かった。

▲モバイル環境に慣れている MZ 世代...好みに応じた映像コンテンツの消費傾向が目立ち、MZ 世代は 1980 年代以降に生まれデジタルとアナログを一緒に経験したミレニアル世代と、1990 年半ば以降にデジタル環境で生まれた Z 世代を通称する言葉で、彼らは PC とモバイル環境で生まれ育ちデジタル環境とスマートフォンの使用に慣れている世代だ。

MZ 世代のオンラインコンテンツ消費動向分析で導出された主要な問題語を見てみるとコンテンツごとに異なる特徴を示し、動画が最も高いツイート割合を占めた。動画はコンテンツ全体ツイートの 44.9%で最も多く、「ユーチューブ」、「グルメ」、「日常的な」、「V ログ（訳注：動画ブログ）」、「ゲーム放送」、「TikTok チャレンジ」など、個人の好みに応じて定期的に映像コンテンツをアクセスすることが分かった。このほか、写真/テキスト（37.4%）は「インスタグラム」、「フェイスブックメッセンジャー」、「ツイッタードクジル（訳注：オタク）」など利用目的に応じて媒体を区分して使用しており、ゲーム（15.1%）の場合、「観戦」、「ファンダム（訳注：ファン集団）文化」、「一般人大会」など観覧と参加の両方を楽しむものと分析された。

▲デジタル環境とスマートフォンの使用に慣れている MZ 世代...モバイルデバイスの利用時間↑世代別のメディアデバイス利用時間の割合を見ると、ベビーブーム世代から MZ 世代に行くほど TV の利用時間が低くなってモバイル利用時間が増加することが分かった。ミレニアル世代は全体メディアデバイス利用時間の 59%を、Z 世代は 70%をモバイルデバイスの利用で消費しており、それに応じてビデオ、SNS、ゲーム、デジタルコンテンツなどモバイル機器を通じたコンテンツの利用率がさらに拡大すると思われる。

▲写真/テキストと動画は平日の午後、ゲームの消費は平日・週末の夕方からオンラインコンテンツ別消費時間は、コンテンツの種類に応じて異なる特徴を示した。動画や写真/テキストは Z 世代の下校時間とミレニアル世代の昼休み後の「平日午後の時間帯（2 PM-6PM）」に集中して使用した。ゲームは没入感の高い特性を反映して、平日・週末関係なく一日が終わる「夕方から明け方の時間帯（6 PM-12AM）」に、音声は比較的活動量が低い午前の時間帯（6 AM-12PM）に利用することがわかった。

▲動画はいつでもどこでも、写真/テキストは日中の合間に、退屈な仕事帰りにはゲームを、オンラインコンテンツ別の利用場所は各コンテンツが持つ特性を反映していることが分かった。動画は最も日常的なコンテンツで時間・状況・特定の場所に関係なく均等に使用し、写真/テキストは音が出ないコンテンツでありながら日課中に短く楽しむことができる特性上、学校/学園/読書室（33,8%）と会社（32,0%）の割合が高かった。ゲームは他のコンテンツに比べ移動時（19,9%）に使用される割合が高かった。

この「プロスポーツ×ソーシャルビッグデータ 2019」は文化体育観光部と国民体育振興公団の後援を受けて調査・分析が行われ、レポート全文は協会ホームページ資料室で確認することができる。

*出典：<http://stoo.asiae.co.kr/article.php?aid=64816765523>

05 【スポーツ界あれこれ】

文化体育観光部、食品医薬品安全所

文化体育観光部と食品医薬品安全所（食薬所）は4日、ソウル鍾路区、国立現代美術館、ソウル館でスポーツドーピング防止活動と不法医薬品流通・販売根絶活動間の連携を強化するための業務協約（MOU）を締結した。

二つの部署は文体部が推進するスポーツドーピング防止政策と、食薬所が推進する違法医薬品流通捜査活動を連携してスポーツ公正性の向上と選手の健康保護のために努力することにした。

新韓銀行

新韓銀行（銀行長ジン・オクドン）がスポーツマーケティング効果を正確に見て、スポーツマーケティングの強者として評価されている。

新韓銀行が今年得ることができる広報効果は、昨年 KBO リーグ後援を通じて導いた 2400 億ウォン規模を遥かに超えるものと観測されており、シーズンを通して KBO と野球ファンに様々な特典を提供して選手たちを励まし試合の質を向上させるのに貢献するものであると明らかに。

大韓体育会

1. 大韓体育会（会長李ギフン）は6月から7ヶ月間、国民に韓国体育の歴史と意味を知らせるための「大韓民国体育 100 年」写真展を開催する。展示会は、6月4日（木）ソウル乙支路4街地下鉄駅舎内乙支路アトリエギャラリーを皮切りに、12月までに全国10の市道の流動人口が多い場所を巡回して開催される予定であり、コロナ19 拡散防止と安全な観覧のため、観覧客はマスクを必ず着用して適正距離を維持するなど、政府の防疫上の注意を遵守しなければならない。

2. 大韓体育会が公正かつ透明な代表選抜と合理的運営のために5日、オリンピック文化センターで第46回スポーツ公正委員会を開き、「国家代表選抜と運営規定」改正案を審議し可決した。改正案は国家代表の指導者、トレーナー、選手の選抜と資格等に関する内容を補完し、理事会の議決を経て改正された場合には代表の指導者に選ばれるためにプロスポーツ指導士2級以上の資格所持などが義務付けされる。ただし、プロ種目のゴルフ、バスケットボール、バレーボール、野球、サッカー種目の場合、その特性を考慮して2023年1月から規定を適用する計画だと明らかに。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 효령로 230 승정빌딩 407 호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com